

学校教育法施行規則66条、67条、68条に基づく、平成27年度の学校評価は次のように行われた。平成27年3月末に、学園全体、小、中高の各部の目標および各学年の目標、各校務分掌の目標及び実施計画を策定した。これをもとに、学校評価自己点検を行なった。また、学校関係者11名の方に評価委員を委嘱し了承をいただいた。従って、平成27年度は職員による評価目標の設定、及び自己評価、また、その自己評価に対しての学校関係者による学校関係者評価が行われた。7月18日に第1回学校関係者評価委員会が開催され、今年度の学校目標、評価項目について学校より説明。12月12日に第2回学校関係者評価委員会を開催し、学校の自己評価の中間報告に対して、各委員より、ご意見、ご指導を頂いた。学校の最終的な自己点検報告を受けて、平成28年3月19日に第3回学校関係者評価委員会を開催して頂き指導助言を受けた。以下に、その内容の一部を公開する。

(I) 小学校事業計画（全体のみ掲載）

(II) 中学高等学校事業計画（全体、分掌のみ掲載）

(III) 第3回学校評価委員会議事要約

(1) 小学校事業計画（全体）

1. 学力の強化

- 1) 子どもが学ぶことに喜びを感じる授業をする
- 2) 豊かな人間性を持った子どもを育てる
- 3) グローバル意識を育てる

2. 教員の指導力向上

- 1) 思考力・判断力・表現力が身につく授業にする
- 2) 6ヶ年指導計画に基づき、教科指導力・生徒指導力の向上を図る
- 3) カトリック学校の精神を深める教師

3. 組織運営の効率化 ISO の仕組みの中で

- 1) 主任のリーダーシップ、ICT 機器の活用、入試の改善

4. 子どもの命をまもる

- 1) 情報モラルの学習、「いのち」の授業の実施

(2) 中学高等学校事業計画

(全体)

1. 学力の強化

2. 教員の教科指導力向上

3. 組織運営の効率化 ISO の仕組みの中で

4. 子どもの命を守る

(分掌の事業計画)

- (教務部) ・新学習指導要領・大学入試改革を見据え、平成 28 年度のカリキュラムを作成する
- ・評価基準を満たす力を生徒につけさせる授業を研究し、実践する
- (学習指導部) ・各教科の弱点分野・領域を明確にし、改善する
- ・新大学入試に向けて、6ヶ年指導計画を改定する
- (生徒指導部) ・生徒の自主的活動を支え、結果を「見える化」できる生徒指導部組織を構築する
- (庶務部) ・校内施設のリニューアル案の作成と工事期間中の代替施設の調整
- (広報部) ・受験者数増加を目指す広報活動
- (宗教部) ・カトリック学校としての精神を深める教員の育成

(3) 平成 27 年度学校評価委員会 (第 3 回) 議事録要約

1. 学園長挨拶

小中高と終業式を迎えました。中学は義務教育課程の修了であり、最後の 3 年生全員による大地讃頌の合唱が感動的でした。

カフェテリアが新しくなり、開放感を感じさせる建物になりました。次年度は小学生の給食を充実させる予定です。子供たちがゆったりとした気持ちになれるのではないかと喜んでいます。また次年度は、耐震補強工事の第 3 期になります。中高の校舎が中心で、非常に大変になります。平成 28 年度は生徒にも皆様にもご迷惑をおかけすることが多くなると思います。

今回も皆様のご指導、ご助言をよろしくお願い致します。私たちにとって大きな助けとなります。

2. 議事

【小学校】

質問 ・入試の改善とあるが、具体的には何か。

回答 ・例えば、申し込み前日の夜から並ばれている状況を改善することなど考えている。また、内部進学の手続きの在り方なども改善を考えている。

質問 ・各教科を標準時間数に戻すとあるが、今までは違ったのか。

回答 ・各教科の標準時間数は文科省が指定している。明治ではこれまでそれ以上やってきた。一旦標準に戻したうえで、明小の特徴を出すために国語と算数は標準より若干多くした。また、特別活動の時間を増やし、自主的な児童を増やしていきたい。

質問 ・英検受験に向けての準備とは？

回答 ・次年度は学校で受験することを考えている。

質問 ・新カフェテリアも完成したが、食育などは考えているか。
回答 ・次年度は、子供自身がある程度配膳をすることや、食べ物、食器などを大切に扱う教育を充実させる。給食の回数を増やして、教育機会を増やす。

質問 ・実施報告に防犯教育とあるが、具体的にはどのようなことか。
回答 ・バスや電車で見知らぬ人から声をかけられる事例がある。具体的にどう行動すべきかなどをしっかりと子供たちに伝えていく。

意見 ・ICT 機器を用いた教育の推進をお願いしたい。ただ使っているという事態に陥らないように留意していただきたい。

回答 ・子供たちの学習が深まるように日々努力していくつもりである。また、ネットトラブルを未然に防ぐ対策として、弁護士会の消費者教育や、大学生による講義など子供に近い世代の人を講師として招聘する取り組みも考えている。

【中学高等学校】

意見 ・合格実績を見ると明治学園の生徒はポテンシャルが高いと思う。

意見 ・SGH 報告会の発表が素晴らしく、もっとたくさんの生徒が参加すればよいと思った。

質問 ・SGH のグローバルキャリア教育の中で自動車をテーマとして進めたとあるが、これはどのようなものか。

回答 ・日産、トヨタなどから講師を招聘し、企業という立場からグローバル社会を見るという視点で活動を行った。次年度の課題研究の希望人数が 80 名ほどになり、今年度の 3 倍になった。

意見 ・具体的な目標を持って大学進学するということは非常に大切だと考える。その意味で、学園の取り組みはよいと思う。

回答 ・知識・技能と主体的な学びを両方目指さないといけない。招聘した企業や他国の方の話を生徒が生き生きと聞いていた。生徒が自分の将来の夢について語った内容をまとめた冊子「My Dream」には生徒の自覚を感じさせるようなことが書かれている。

例えば、「海外との橋渡しをしたいと思ったが、英語が苦手。だから、しっかりと英語を学習したいと思う。」このように書いた生徒がいた。

質問 ・北九州市内にも海外とつながりを持つ方が多い。そのような方を大いに活用すればよいと思う。また 18 歳選挙権について、学校では何らかの取り組みを考えているか。

回答 ・社会科の授業を活用して教育している。

回答 ・東京研修を例にとると、従前は安保法案反対と言っていた生徒が、研修後賛成と言っていた。その後、沖縄修学旅行ではやはり戦争反対と言う。このように本物に触れさせていろいろ揺さぶることも教育だと思う。

- ・アメリカ国務省主催のアメリカ、オーストラリアなど6か国の高校生によるサミットに選ばれて参加した生徒がいるが、現在世界では、高校生に国際秩序を考えさせることなどが、積極的に行われている。

意見 ・ 課題研究発表会が大変印象的であった。生徒が自主的かつ行動的であった点が評価できる。また、大規模であったがそのような場で発表できたことが素晴らしい。

意見 ・ 東大推薦合格者の体験談で、海外に関わる経験が豊富であったことが合格に繋がったとあった。

意見 ・ グローバル人材育成の観点から高大連携を考えたときになにができるかというとき、九歯大ではミャンマーと繋がりがあったので、海外の齟齬に関するテーマで課題研究をすすめた。

意見 ・ 今年産医大に来ていた課題研究メンバーは非常にまじめかつ熱心で良かった。環境学会九州支部で発表を行った高校生2名は素晴らしかった。また、今回の課題研究発表会の各生徒の活躍も良かった。一つ、質疑応答の時間を設けるともっと良かったと思う。

意見 ・ 受験学力をつける必要があることと、教職員のオーバーロードが気になる。また生徒の挨拶が少なくなった点も気になる。

意見 ・ 教師の関わりが深ければ深いほど、子供には信頼関係が生まれると思う。先生はいろいろ大変だと思うが頑張ってもらいたい。

以上